

Alma のデジタルリソース

Alma のデジタルリソースに関するトレーニングセッションへようこそ このセッションではいくつかの基本的な用語 Alma が使用するインベントリーモデルとデータモデル さまざまな種類のデジタルレコードの整理について学習します

ここでは途中、Alma のデジタルリソースの例をいくつかご紹介します

最初に知っておくべきこととして、すべての機関がデジタルリソースを使用できるわけではありません

これは、Alma のアドオンサブスクリプションです

以前のトレーニングセッションで皆さんは物理および電子リソースが Alma でどのように構造化されているかを学びました

デジタルリソースがどのように他の種類のリソースとは異なるかを理解することは重要です

デジタルリソースは、あなたの機関が所有する電子ファイルです

画像、ビデオ、録音物、PDF など、物理リソースを所有しているのと同じように一方、電子リソースは、ベンダーまたはプロバイダーが所有しユーザーはプロバイダーサイトのリソースにアクセスします

電子リソースの場合、メタデータのみが Alma で管理されます

デジタルリソースの場合、メタデータと実際のデジタルファイルの両方が Alma で管理されます

Alma の物理および電子リソースと同様に デジタルリソースのインベントリーモデルには 3 つのレベルがあります

他と同じく、最上位のレベルには書誌レコードが位置しています

これは、それぞれの固有のインテレクチュアルエンティティを表すメタデータです

写真、録音、文書などが当てはまります 今回の例では、本です

中間レベルには、インテレクチュアルエンティティの表現物を含む 1 つ以上のレコードが含まれます

マスター表現物または派生表現物のいずれかを持つことができます

例えば、本の場合、高解像度のマスター表現物があるかもしれません

各ページのスキャン画像と透かしを使用した低解像度の派生表現物を含むすべてのページを 1 つのファイルにパッケージ化したものです

最下位のレコードにもメタデータが含まれています

各表現物に関連付けられている実際のアセットまたはファイルに関するデータです

多くの場合、表現物ごとに 1 つのファイルが存在します...例えば この派生表現物には 1 つのファイルが含まれています

これはおそらく、ユーザーがアクセスするファイルです

しかし、複数のファイルがある場合 -- 文書の各ページの高解像度スキャンによるマスター表現物など -- そのマスター表現物には、スキャンしたファイルごとに

複数のファイルレコードが関連付けられることとなります

電子リソースと同様に、デジタルリソースも Alma 内の関連タイトルを集めた[コレクション]に編成されます

コレクションには複数のタイトルが含まれる場合もあれば、1つしかない場合もあります。

Alma で新しいデジタルアセットを作成する時 プロセスの一部に、ファイルを Alma にアップロードすることが含まれています

そのファイルは安全なクラウドベースのシステムに保存されています

あなたの機関だけがそのファイルにアクセスできます

メタデータレコードが作成され、デジタルアセットファイルがアップロードされるとメタデータはディスカバリーサービスに反映されます

これによりユーザーは、ディスカバリーサービスでデジタルリソースを見つけることができるようになります

物理および電子リソースと同じようにデジタルリソースの管理の詳細は、Alma のマニュアルや他のトレーニングセッションの Alma Digital と呼ばれるセクションでご覧になれます